

私のすすめるこの1冊

舟引 遥香 (美術科 講師)

『悪筆論』

石川 九楊 (著)

「悪筆論」という強烈なタイトルの本書は、書家である石川九楊氏が、太宰治や三島由紀夫など著名な文学作家の筆跡を拠り所として書字と文学の関係を探ろうとした一冊です。私もしばしば他者の筆跡からその人となりや想像してしまいましたが、筆跡から人の心や姿を読み取ろうとするのは書家の性なのかもしれません。

書と人を重ね合わせる考え方は、中国前漢の文人である揚雄が「書は心画なり」と記したことが始まりだといわれており、「書には書いた人の心が表れる」という考えはかなり古くから浸透していたようです。私は昨年度まで高校で書道部の顧問をしていたのですが、「よい作品を書くためには技の上達だけでなく、自己の内面と向き合い人間的に成長することが大切だよ」と生徒に伝えてきました。それは私自身が「書には書き手の技量だけでなく人間性や品性までもが表れてしまう」と教えられてきたからです。幼いころ、お習字教室で姿勢や礼節を厳しく指導された経験のある人も少なくないと思いますが、現代の書の世界においても「書は人なり」の精神は大事にされているのです。

本書に頻りに登場する「筆蝕」という言葉は著者による造語で、いわゆる「書きぶり」を指します。作家たちがこれから書こうとする物語は、筆蝕の中に未然形で含まれているとし、原稿用紙の紙質、紙の厚さ、大きさ、罫目の形状や色、美感までもが、これから生まれる物語に深く関わっていると著者は考察しています。そして、作家たちの筆蝕に共通する型

(書法や書体)を導き出し、各作家の文学の核心に迫ってきます。さらには、彼らの「筆蝕から生まれた文学」は、現在のパソコン作文からは生まれなかつたであろうとも述べています。ICTの進化によりさまざまなものがデジタル化・効率化されてゆく現代社会において、手書き・手触りからしか生まれないものの尊さを改めて思い知らされた気がして、図らずも胸が熱くなりました。

本書には、川端康成の『雪国抄』の原稿をはじめ、いくつか図版が掲載されているのですが、彼らの文字は当然ながら技巧的なものではなく、格好いい字を書いてやろうという作為もありません。対して私たち書家はどうしても人とは違う工夫をしたくなるし、洒落た表現をしたくなるものです。ときには自分に酔って気取った作品を発表し、後に大きく後悔をすることもあります。昭和から平成にかけて一世を風靡した書家・村上三島氏は、「本物の書は、その人の人間そのものが表出したもの」という言葉を遺していますが、彼らの奇を衒わない書きぶりからは少しそんなものを感じました。

人に向かって「悪筆」とは甚だ失礼に思えますが、その定義は決して「下手」ということではなく、「書道家の書でも知識人や文士の書でもなく、表現の書の範疇からもはみ出る、筆蝕の中に大量の表現が漏れ溢れている書」であったことは最後にお伝えしておきます。

みなさんもぜひ、彼らの「悪筆」が魅せるもう一つの物語を味わってみてください。



企画展示 第6回教育展「楽器の世界 子どもと音楽をつなぐ楽器展」

「楽器の世界 子どもと音楽をつなぐ楽器展」と題して、本学が収蔵しているさまざまな玩具的楽器や教育用楽器について、教育という営みのなかで与えられたさまざまな機能をご紹介します。大人も子どももぜひお楽しみください。

【会期】11月1日(金)～12月23日(月)

※11月10日(日)は藤陵祭のため開館、
11月30日(土)は大学入試のため学
外者入館不可

【時間】図書館の開館日時に準じる

【会場】附属図書館北館1階企画展示室



<関連イベント>

科学と音楽のワークショップ「こすって鳴らす楽器のふしぎ」

【日時】11月3日(日) 13時～15時

【会場】音楽演奏室

講演会「世界は楽器に満ちている！：楽器の起源・機能・分類とは」

【日時】12月1日(日) 13時～14時

【会場】附属図書館北館2階 研修・セミナー室1

※申込方法等詳細は図書館HPをご確認ください。



図書館講習会のお知らせ

図書館ではさまざまな講習会を予約制で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？ご参加お待ちしております！

【実施期間】10月15日(火)～11月15日(金)

【申込方法】氏名・専攻・人数・希望講座・希望日時(曜日・時限(平日 11:30～17:15 まで))を明記の上、以下のメールまたはGoogle フォームから前日までに申込みください。調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

・メール:library@kyokyo-u.ac.jp

・Google フォーム:QRコードから申込可能

【集合場所】附属図書館カウンター

※詳細は図書館HP等をご確認ください。



連動企画:データベースのプラス50アクセスアップ

ジャパンナレッジ:10月15日(火)～10月21日(月)

朝日新聞クロスサーチ:10月15日(火)～10月28日(月)



eBook 全文試し読みはじまる!

対象タイトル10万冊以上!丸善雄松堂提供プラットフォーム、Maruzen eBook Library (MeL)のeBook 試読を開始します。期間は10/1(火)～11/30(土)まで、1タイトル1回あたり5分間よみ放題。学認アカウントがあればスマホや学外からも利用できます。気に入ったものはその場で「リクエスト」することも可能!

今すぐMeLにアクセスして、読みたい本を探そう!



「夏休み、専門書をさがしにでかけませんか?」選出本を展示しています!

8/7(水)～9/15(日)の間、近畿五カ所の丸善ジュンク堂書店へ自由に来店して専門書を選ぶ、非集合型ブックハンティングを行いました。6名の参加者が各自の専門分野に基づいて選んだ本は、推薦文などとともに10/16(水)～11/30(土)まで、1階渡り廊下新着図書の際で展示しています。展示期間中も貸し出しできますので、是非ご利用ください!



「新着電子BOOK」のポスターを掲示しています

新たに購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」の横とグローバルスクエアの廊下で展示しています。

グローバルスクエアでは英語以外にも、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンガルのポスターを追加しました!各ポスター下側にあるQRコードは切り離し可能ですので、読みたい本/興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。なお、スマホや学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントのID・パスワードを入力してご利用ください。



京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第43回のお知らせ

10月中旬YouTube公開予定

【講師】山下良樹(理学科 講師)

【テーマ】放射線ってこんなに身近？基礎から応用まで
 <概要> 今回の放射線講座では、まず α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線などのよく聞く放射線について説明します。これらの放射線がどのように異なるのか、その特性について理解を深めます。次に、自然界に存在する放射線について解説し、私たちの生活環境にどのように影響を与えているかを説明します。その後、放射線が農業・医療・産業等でのどのように利用されているか、具体的な例を挙げて紹介します。最後に、医療現場で利用される放射線の1つであるX(エックス)線と、その人体への影響について詳しく解説します。特に診断で利用されているX線コンピュータ断層撮影法(X線CT)の特徴について学びます。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください!



10月から再開します!学修相談カウンター



レポートや卒論、教育実習、就活などさまざまな相談を受け付けています。

【場所】北館2階ラーニング・コモンズ

Webフォームもあります。

時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する、、、などの場合はフォームでの相談も受け付けています。



Web相談フォーム



日本教育新聞電子版の閲覧ができます

日本教育新聞「記事検索データベース」サービス終了に伴い、電子版に変更しました。

毎日更新されるニュースや、日本教育新聞に掲載された過去20年分の記事を閲覧することができます。

※利用方法は図書館HPをご確認ください。



開館時間に関するアンケートご協力のお願い

附属図書館では、2024年4月から試験的に開館時間を短縮いたしました。

これについて利用者アンケートを行いますので、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せください。

【回答期間】令和6年7月25日(木)~10月4日(金)

【回答方法】アンケート用紙(館内で配布)を提出またはWebフォーム



↑ WebフォームQRコード



リクエストと投票で話題の本を読もう

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です!リクエストや投票にぜひ参加してください!

投票期間は10月2日(月)~11月18日(土)

メッセージボードを設置しています!

イベントのお知らせやメッセージなど、つぶやいています。



児童書コーナー(南館1階)

今月の絵本カード(学生作)

『はじめてのおつかい』

作:筒井 頼子

絵:林 明子

出版社:福音館書店

幼児教育科主催
えほんのまい



※児童書コーナーに
かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来て
ください。



夏季休暇に伴う長期貸出について

返却期限日は10月8日(火)です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【10月の開館日時】

7日(月)、14日(月・祝)、21日(月)、28日(月) 14:00~17:00

好評開催中!

第12回京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー
2024年9月21日(土)~2025年3月24日(月)まで

※本学は連携参加大学です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **丸山 啓史** (発達障害学科 准教授)

ペットと優生思想 —犬や猫のブリーディングをめぐる問題—

丸山啓史

京都教育大学紀要 2024, No.144, pp. 1-12
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9862>



「遺伝性疾患を防止するため、遺伝子検査を徹底し、保因者が子どもをもつことを禁止しよう」「子どもに障害があるのは不幸なことだから、障害のある子どもが生まれないようにしよう」——そうした考え方は、「優生思想」として批判されるようになってきています。

ところが、ペットとして飼育される犬や猫については、同じような考え方が堂々と主張されています。ペットショップを経営する大手の企業は、犬や猫の遺伝子検査を進めており、「遺伝子病の根絶」や「遺伝子病のない世界」の追求を消費者に向けて宣伝しています。

一方で、企業や消費者にとっての「望ましい個体」を増やそうとするブリーディングによって、犬や猫が「障害」とも言えるような生きづらさを負わされています。ブルドッグやバグのような短頭種の犬は呼吸に困難を抱えやすい、股関節形成不全を経験するゴールデン・レトリバーが多い——そんな指摘がされています。

こうした状況は、容認されるべきものでしょうか。「人間の話ではなく、犬や猫の話だから、かまわない」という発想は、生物種を理由とする差別(種差別:speciesism)でしかないかもしれません。

犬や猫が「家族」と表現される場合が多いことを考えても、「犬や猫の話」は「人間の話」に結びついている気もします。人間を対象とする優生思想を克服するためにも、動物を対象とする優生思想についての批判的検討が求められます。

そんなことを考えて、この論文を書きました。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 144号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程

□9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2024年10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10/1 後期授業開始
10/19 大学院入試
(学外者利用不可)

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2024年11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

11/6 館内整理日
11/8-10 藤陵祭
11/30 推薦入試(学外者利用不可)

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

(QRコード→)



京教図書館 News No.289 (2024年10月号)

発行日:2024年10月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

